

別紙

前年度の温室効果ガスの排出の量及び排出削減計画に基づき実施した措置の状況

氏名	(法人にあつては名称) 三菱ケミカル旭化成エチレン株式会社		住所	(法人にあつては主たる事業所の所在地) 〒 100-0011 東京都千代田区内幸町2丁目2-2	
本票作成	部署名：水島工場 生産管理課				
主たる業種	分類コード	16	業種名：化学工業		
事業の概要	石油化学系基礎製品製造業				
県内の主な工場等	番号	工場等の名称		所在地	
	①	水島工場		岡山県倉敷市潮通三丁目10番地	
特定事業者の該当要件	<input checked="" type="checkbox"/> ①燃料等原油換算1,500kl以上 <input type="checkbox"/> ②バス・トラック100台、タクシー250台以上 <input checked="" type="checkbox"/> ③CO ₂ 換算3,000t以上 (●工場等の数 1 所 ●車両台数 (②該当の場合) 台)				

温室効果ガス排出量	基準年度 (平成 28 年度)	(令和 3) 年度排出量	目標年度 (令和 3 年度)
	776,416 t CO ₂	628,809 t CO ₂	694,992 t CO ₂
主な工場等の排出量	番号	工場等の名称	(令和 3) 年度排出量
	①	水島工場	628,809 t CO ₂
			t CO ₂
			t CO ₂
			t CO ₂

削減目標の達成状況	計画期間：	平成 29 年度 ～ 令和 3 年度 (5 箇年度)		
	<input type="checkbox"/> 総排出量基準	(3) 年度削減実績	目標削減率	目標達成
	<input checked="" type="checkbox"/> 原単位基準	8.2 %	0.3 %	<input checked="" type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> 未達

(原単位基準の削減目標を選択している場合に記入)	温室効果ガスの排出量と密接な関係をもつ値の内容 生産数量	原単位当たり排出量		
		基準年度	(3) 年度	目標年度
		684.6 t CO ₂ /(千 t)	628.3 t CO ₂ /(千 t)	682.3 t CO ₂ /(千 t)

(該当事業者のみ記入)

ベンチマーク	対象事業の名称	ベンチマーク指標	関連数値 (令和 3 年度)	達成率等
指標の状況	石油化学系基礎製品製造業	11.900 GJ/t 以下	11.9 GJ/t	100.0%

【削減状況の自己評価】

- 削減目標は、現時点で予定している削減案件を考慮して算出 (原単位基準)。
- 令和元年に実施したプロピレン冷凍機コンデンサー冷却効率ダウン抑制調整継続により、わずかではあるが排出量削減に向け努力したが、建設から50年が経過しており、省エネルギー案件に関しては一定量実施済であり、大幅な省エネが難しい状況である。
- 2021年度 (令和3年度) は定期修理年度に伴いCO₂排出量が低下している。

【推進体制】

エネルギー管理統括者に副社長、エネルギー管理企画推進者に製造課長を選任し、工場部門の管理職・スタッフの中からエネルギー管理者4名を選任して推進を継続している。

【目標削減率達成のために実施した措置及び今後の取組】

工場等の名称	実施した措置及び今後の取組の内容
水島工場	<p>(令和3年度実施分) 分解ガス圧縮機駆動用蒸気タービンについて、高効率なローターへの更新を実施した。 (21年春の定期修理で更新し、CO2削減量; 752t/年)</p> <p>(今後実施予定分) 超高圧(12MPa)蒸気温度最適化(CO2削減量; ▲1,116t/年) 脱メタン系冷熱回収(CO2削減量; ▲1,113t/年) クエンチウォーター排熱回収強化(CO2削減量; ▲3,814t/年) 25年春の定期修理に向けて検討を取り進める</p>

【森林保全等吸収源対策への取組】

県内での取組	無	
その他	無	

【再生可能エネルギーの導入】

県内での取組	無	
その他	無	

【その他特記事項】

弊社発足時に関東経済産業局へ申請内容を相談した結果を受けて、ベンチマーク計算の中では販売している燃料を控除分としてカウントしていましたが、経済産業省より控除しないよう連絡がありました。
 弊社が発足した16年度に遡って定期報告書及び中長期計画書を修正の上経済産業省へ再提出しておりますので、その内容に従って基準年度及び目標年度の値なども修正しています。